

さくら

SAKURA

学校法人ノースアジア大学 広報



2014.3 March

No. 238

CONTENTS

- 02 / 【特集】充実したキャンパスライフを送る
- 04 / ノースアジア大:住みやすい街づくり
短大: 移動公開講座
- 05 / ノースアジア大:マーケティングを学ぶ
短大: セミナール研究発表会
- 06 / 高校: 吹奏楽部、硬式野球部
- 07 / 幼稚園: サッカークラス、豆まき
- 08 / インフォメーション(卒業生の皆様へ)



充実したキャンパスライフを送る

卒業後の可能性を広げる ～日商簿記検定試験1級合格～

ノースアジア大学 経済学部経済学科 小野寺 真子 さん (2年)

簿記検定試験2級に合格し、さらに上の級に挑戦しようと決意しました。試験の勉強は、テキストを活用しながら、分



からないことは大学の先生に聞いたりしました。1年生のときにはファイナンシャルプランニング技能検定2級にも合格したので、そのときに得た知識も勉強に生かしました。

簿記検定2級では、過去問題集とテキストを中心に勉強していましたが、1級では予想問題を中心に解くなど、より実践的な勉強方法に変えました。また、同じ問題は絶対に間違えないようにすることを心掛けて、問題をたくさん解くようにしました。

経済学部のさまざまな授業の中で、先生が試験でよく出題される内容を紹介していましたので、その説明を聞くことで、一層理解を深めることができ、感謝しています。

卒業後の進路は、まだ明確に決まっていませんが、来年度は就職活動が始まります。今後も資格取得に積極的に挑戦し、幅広い分野の知識を得て、将来の可能性を広げていきたいと思っています。

仲間と切磋琢磨した貴重な時間

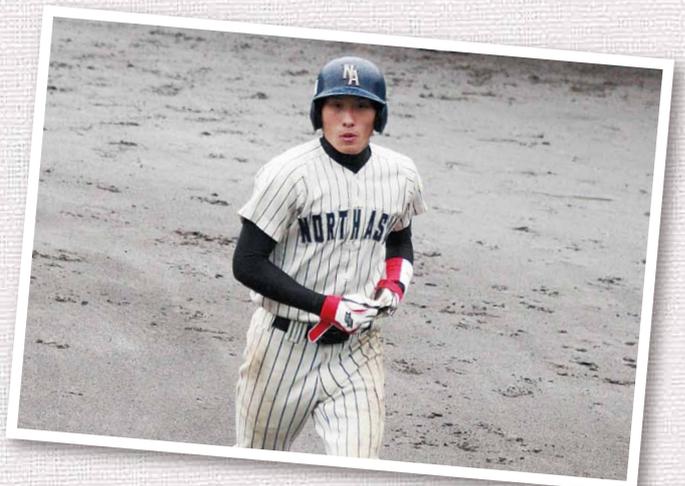
ノースアジア大学 法学部法律学科 佐藤 康一 さん (4年)

4年間、野球に打ち込んだことで身についたことが3つあります。それは、礼儀、主体性、リーダーシップです。目上の方への礼儀は、監督・先輩との関わりを通して自然と身につきました。また、主将を務めたことで、物事に率先して取り組むようになり、チームをまとめて引っ張っていくのは自分だ、との思いを常に持ち続け、他の部員の模範となるように振る舞うことを意識しました。そのおかげで、4年生になると、後輩が「康一さんのために勝とう」「これが最後の打席になるかもしれないから、がんばってください」といった声をかけてくれるようになり、本当にうれしく思いました。

振り返ってみると、小学校6年生から高校3年生まで、一貫して野球に打ち込んできました。大学で野球を続けるか迷っていましたが、2学年上の先輩から入部を誘われ、1年生の秋から練習に参加することにしました。皆で切磋琢磨しあううちに、部員の数も徐々に増え、今では、室内練習場も完備していただき、嶋崎久美監督のもと、全日本大学野球選手権大会出場を目指すチームとして成長。その中、主将としてチームに貢献したことが評価され、北東北大学野球連盟が選出したベストナインに入ったことも良い思い出です。野球を続けて、このような個人的な表彰を受けたのは初めてです。入部を後押ししてくれた先輩、お世話になった監督・コーチ、

チームメイトや見守ってくれた家族にも感謝の気持ちでいっぱいです。このチームで野球を続けることができ本当に良かったです。部活動に励むことで、一層充実した大学生活を送ることができました。

4月からは、社会人になります。周囲の人から頼られ、慕われるような人材に成長して、採用していただいた企業へ貢献したいと思っています。



ンパスライフを送る

海外で働いた経験を将来に生かす



ノースアジア大学 法学部観光学科 九島 千詠子さん (3年)

昨年の8月から今年の2月にかけて、ニューワールドサイゴンホテル（ベトナム ホーチミン市）で、海外インターンシップを経験しました。大学の先生に、海外で働いてみたいとの思いを伝えていたことから、実現しました。出発するま

周辺の案内やレストランの予約など、多くの業務を経験しました。期間中、ホテルの近くの公園で、大きなイベントがあったときには宿泊客のほとんどが日本人となって、仕事が集中して大変でした。そのとき、一緒に働いている方々が「みんな家族で、チームなのよ」と言って手伝ってくれたことが本当にうれしかったです。また、お客様に名前でご呼んでいただいたこともうれしかったです。

では、言葉の心配もありましたが、それよりも、新しいことに挑戦できる喜びの方が大きかったです。

この実習を通して、社会に出る前に海外で働く経験をできたことが一番の財産です。相手を尊重するコミュニケーションの取り方や社会で必要な知識も身につけることができました。海外に出ることで、改めて、日本の「おもてなし」の気遣いが一番素晴らしいと実感しました。

インターンシップ先のホテルでは、日本人宿泊客へのサービス全般を担当しました。チェックインや荷物運び、ホテル

帰国後は、就職活動に励んでいます。目標である、ホテルへの就職を必ず実現させたいです。また、英語、中国語などの語学力も向上できるように努力していきたいと思います。

念願の留学を実現 ～コミュニケーション能力と語学力を磨く～

ノースアジア大学 法学部観光学科 古谷 晴華さん (2年)

留学をしようと思ったのは、高校の修学旅行で韓国に行ったことがきっかけでした。現地の高校生と交流したとき、大好きな国を訪れたのにもかかわらず、うまくコミュニケーションをとることができなくて悔しい思いをしました。そのときから、いつか韓国に留学したいと思い続けていました。ノースアジア大学に「観光奨学生」の制度があることを知り、迷わず入学を決意しました。そして、大学1年生の2月から11ヶ月間、慶熙大学校（韓国 ソウル市）に留学しました。



出発する前、授業を履修したほか、テレビの講座を見たり、教材を買って勉強するなどの努力をしました。家族も、私のがんばる姿を見て、応援してくれました。

慶熙大学校では、留学生が韓国語を学ぶクラスに所属。さまざまな国からの留学生が集まっていましたが、皆、流ちょうに話していました。授業や、初めての環境に戸惑うこともありましたが、友人や先生に恵まれ、かけがえのない時間を過ごすことができました。不安に思っていた言葉の壁も、普段の授業や予習・復習を大切にしながら、友人と触れあう時間を多く作って会話をする機会を増やすように努めた結果、今では日常会話であれば困らないくらいに上達しました。

現在、留学から帰国した学生を対象に、大学で韓国語の講座を行っているので、受講しています。担当の先生からも、上達したと言ってもらい、韓国語にも自信を持てるようになりました。

また、留学をしたことで、自分の意見を明確にして相手に伝えることができるようになり、精神面でも成長しました。

もっと語学力を磨き、卒業後は、留学での経験を生かして、観光の分野で活躍したいと考えています。



経済学部では、昨年夏頃から能代市において、「交通が結ぶ生活基礎インフラと住民生活の質」をテーマに掲げ、調査・研究に取り組んできました。

このほど、学生たちが、調査研究内容をまとめ、同市中央公民館にて、経済学部の学生による地域調査・研究発表会を行いました。

この会には、これまで学生に指導をしていただいた、神戸松蔭大学院大学の竹田美和副学長、大阪大学大学院の猪井学講師が参加し、冒頭に、ご講演いただきました。その後、各ゼミナール8分程度、スライドを使って[交通・産業・IT][福祉関係][自然・歴史・総合]の3つの領域ごとに発表を進めました。同市出身の学生が多く、シャッター街の活性化を提案

したゼミナール、短命であると言われている秋田県が実は健康的に過ごしている期間が長いことに着目したゼミナールなど、学生ならではの視点で、同市や秋田県に、にぎわいを創出し、より住みやすい街にするためにはどうしたら良いのかを考えることができた貴重な時間となりました。

また、発表への質疑も多く出され、活発な意見交換が行われました。最後に、講演をいただいた二人の講師から、「前回の発表を聞いたときよりも、大変よく内容がまとまっている」との講評をいただきました。この調査、発表会を通して、学生たちは自分たちが住んでいる地域、秋田を住みやすい街にしていくためにどうしたらよいのかをこれからも考えていこうと決意を新たにしていました。



檜山納豆を使った移動公開講座

3月1日、能代市で小学生の低学年を対象とした移動公開講座を開催しました。

今回のテーマ食材は、民謡の秋田音頭にも歌われている「檜山納豆」。学生たちは、文献などを調べてレシピ作りに取り組みました。また、調べた内容とレシピは、学内でのゼミナール研究発表会で発表、報告し、この日に臨みました。

実習の前には、東口みづか教授から参加した子どもたちに向けて「栄養満点！納豆のおはなし」と題し、栄養面から見た納豆についての講演がありました。

講演に続き、行った調理実習では、参加者と学生が会話しながら作業を進め、サラダや中華風の惣菜づくりなどで楽しく時間を過ごしていました。

この講座に参加した学生は、「昨年秋ごろからゼミナールでの調査、試食を行い、内容をまとめました。講座では、小



学生の子どもたちが親しみやすく、気軽に話しかけられるような雰囲気作りを心掛け、楽しく調理することができました」と話しました。

東口教授は、今回の講座、レシピ作りについて「納豆の風味を生かした調理をする加減の難しさはありましたが、出来上がりの味も良かったと思います。今回のレシピには、火を使わずに簡単に作れるものもあるので、子どもたちが自宅に帰ってからも作ってほしいと考えています」と述べました。



大正製薬・電通によるグループワーク講義企画

2月27日、ノースアジア大学において、大正製薬株式会社、株式会社電通によるグループワーク講座企画を開催しました。午前には講演会を開催。大正製薬の水野さんから「リポビタミンDの現状と課題について」と題し、リポビタミンDの誕生からブランド確立への経緯や同商品の現状分析などを踏まえた講演が行われました。続く電通の吉永さんからは、「CM企画について」と題し、事例をもとに、CM制作の際のポイントなどを含めた講演・解説がありました。

午後からは参加学生が5つの班に分かれて「リポビタミンDのエントリーユーザになってもらうためのCMづくり」を



テーマにグループワークを実施。それぞれの班が水野さん、吉永さんからのアドバイスを聞いて意見の集約を図り、CMの絵コンテづくりに取り組みました。

各班がまとめたCMの絵コンテは、班の代表者が制作意図の説明などを行い、発表。

結果、企業の採用試験に向かう娘を励ます父親の姿などのCMを考えた班が最優秀賞を獲得し、記念品をいただきました。

この企画では、企業が商品を販売するための広報活動、マーケティング活動がどのように行われているのかを体験し、今後の学生生活や就職活動などに生かす良い機会を得ました。



栄養士としての能力を高める調査・研究

ゼミナール研究発表会を開催

2月17日、秋田栄養短期大学の2年生がゼミナール研究発表会を行い、1年間の調査・研究した内容などを発表しました。この日は、上級生たちの研究内容を学ぶために1年生も参加。真剣な表情で発表を聞いていました。

離乳の変遷をテーマに取り上げたゼミナールは、「離乳基本案」「授乳・離乳の支援ガイド」などを提示しながら、自分達の考えを発表しました。以前広く使われていた「断乳」という言葉は「卒乳」に変わり、「管理・指導」から「支援」へと考え方が変化していることを紹介。離乳の変遷を知ることで、子育て支援に生かすことができるのではないか、と結論付けました。発表の最後には、豆腐ハンバーグや小松菜を使った蒸しケーキなど、学生が考えた離乳食のメニューを提案しました。

このほか、地域の特産品を使った新メニューの提案、高齢者の骨粗しょう症予防を目的とした栄養教育の検討、高校生や大学生の生活習慣などをテーマに研究した成果を発表していま

した。また、質疑応答の時間には1年生も質問をするなど、栄養学科の学生たちが専門分野についての理解を深める場となりました。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 明桜高校 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

全日本アンサンブルコンテスト 東北大会で銀賞



2月9日、岩手県民会館で全日本アンサンブルコンテスト第41回東北大会が行われ、秋田県代表として出場した明桜高校吹奏楽部は銀賞（金管8重奏）を受賞しました。

同部は、1月19日に秋田県民会館で行われた同コンテスト秋田県大会の金管8重奏で金賞を獲得し、一昨年の木管5重奏以来の東北大会出場を果たしました。出場するメンバーたちは、全国大会への出場を目標に練習に励み、この日に臨みました。

各県からの代表校が出場した今大会において、同部が演奏した「テレプシコーレ舞曲集Ⅱ（M. プレトリウス 作曲、佐藤正人 編曲）」は、銀賞受賞団体（高等学校の部）の中で最高得点を獲得する健闘をみせました。

今回、大会に出場したメンバーの経験を生かし、今年の夏に行われる吹奏楽コンクールに向けて、一層練習に力を入れることにしています。

元プロ野球選手八木茂氏が硬式野球部監督に就任

このたび、明桜高校硬式野球部は、日本野球機構による第1回「学生野球資格回復研修会」を受講した元プロ野球選手で、平成26年1月20日付で高校野球指導者の認定を受けた八木茂氏を、監督として迎えました。

3月14日、監督に就任した八木監督は、硬式野球部の部員と対面し、初練習に臨みました。八木監督は「高校野球の指導者として、迎え入れていただける明桜高校に感謝するとともに、秋田から全国優勝を目指すチームを作り上げたいと思います」と抱負を語りました。

明桜高校硬式野球部の今後の活躍にご期待ください。



八木茂監督の経歴

大阪府出身。早稲田大学から社会人野球（東芝）に進み、1979年のドラフト会議で3位の指名を受けて、阪急ブレーブス（現オリックス）に入団。その後阪神タイガースなどを経て、現職。

大学の選手時代、4年時に主将を務めました。また、遊撃手として、東京六大学連盟のベストナインに選出されたほか、全日本大学野球選手権[1974年]で優勝。

第3回日米大学野球選手権大会の日本代表に選ばれて全試合に出場。

社会人野球では、三塁手、遊撃手として出場した都市対抗野球大会[1978年]で優勝を経験しました。プロ野球入団後は、阪急ブレーブスに4年間、阪神タイガースに1年間在籍。二塁、三塁、遊撃と、内野のポジションを幅広く守れる選手として活躍しました。

サッカーで楽しく体を動かしたよ

のびのび
幼稚園

2月18日、のびのび幼稚園が明桜高校女子サッカー部と交流を行いました。高校女子サッカー部が同園を訪れてサッカー教室を開くのは、昨年に続き2回目。このほか、夏・冬と、大学附属の2つの幼稚園が参加する教室での交流も行っています。

この日は、ボールを使ってパスとドリブルに挑戦。上手にボールを蹴った園児は、うれしそうな表情で部員とハイタッチをしていました。パスやドリブルが上手にできなくても、部員たちが優しく教えました。交流では、ボールを使った「だるまさんが転んだ」も行い、園児は部員の名前を呼びかけたりするなどして、終始和やかな雰囲気、元気よく体を動かしていました。

サッカーで体を動かした後は、各教室に分かれて給食を食べながら仲良く会話をして、交流を楽しみました。



さくら
幼稚園

心の中のオニを退治したよ



2月3日は節分の日。この日、さくら幼稚園では、豆まきをしました。

はじめに、園長先生が、「節分とは、季節の分かれ目のことで、今はちょうど冬から春になるとき。心の中のオニを退治して、すっきりしましょう」とお話してくれました。園児たちに、心の中にどんなオニがいるのかを聞いてみると、『寝ぼけオニ』『忘れんぼオニ』『泣き虫オニ』など、いろんなオニが出てきました。

豆まきの歌を歌った後、いよいよオニの登場です。勇気を出して、豆をオニにぶつけましたよ。園児たちの豆がたくさん当たって、オニは弱って退散してしまいました。

心の中のオニを退治した園児たちは、「すっきりしたよ」「もう寝坊はしません」「早く寝るようにします」と、感想を話してくれました。



卒業生の皆さまへ 各種証明書発行の諸手続きについて

ノースアジア大学・秋田栄養短期大学

成績証明書、単位修得証明書、卒業証明書等は卒業後も必要となる場合があります。その場合、以下の方法で申請してください。なお、個人情報保護のため、電話での申請は受け付けできません。

窓口で	申請	以下の書類を添えて申請してください。 ・証明書申込票（手数料分の本学証紙を貼付）・運転免許証等身分を証明できる書類 ※本人以外が申請する場合は委任状が必要です。
	受領	受付から20分程度で発行可能です。窓口でお受け取りください。なお、証明書の種類によっては、当日発行が出来ない場合があります。後日の郵送も可能です。
郵送で	申請	以下の書類を添えて郵送してください。 ・証明書申込用紙（本学ホームページでダウンロード）・運転免許証等身分を証明できる書類のコピー
	受領	受付の翌窓口取扱日に郵送いたします。なお、料金については、請求書を同封いたしますので、到着後1週間以内に指定の口座に振り込んでください。
電子メールで	申請	以下の書類を添付して送ってください。件名は「証明書申請」としてください。 ・証明書申込用紙（本学ホームページでダウンロード） ・運転免許証等身分を証明できる書類（デジカメ等で撮影したもの。氏名、生年月日、住所等が確認できること）
	受領	受付の翌窓口取扱日に郵送いたします。なお、料金については、請求書を同封いたしますので、到着後1週間以内に指定の口座に振り込んでください。
FAXで	申請	以下の書類を揃えてFAXしてください。 ・証明書申込用紙（本学ホームページでダウンロード）・運転免許証等身分を証明できる書類のコピー
	受領	受付の翌窓口取扱日に郵送いたします。なお、料金については、請求書を同封いたしますので、到着後1週間以内に指定の口座に振り込んでください。

ノースアジア大学

- ◆窓口取扱い時間 月曜日～金曜日 8:30～17:10
*土・日・祝日・夏季/年末年始休業期間中を除く *直接窓口にお越しの際は事前にお問い合わせください。
- ◆問い合わせ先 〒010-8515 秋田県秋田市下北手桜守沢 46-1 大学事務部教務学生課
Tel:018-836-1335 Fax:018-836-2485 Email: kyomu@nau.ac.jp

秋田栄養短期大学

- ◆窓口取扱い時間 月曜日～金曜日 8:30～17:10
*土・日・祝日・夏季/年末年始休業期間中を除く *直接窓口にお越しの際は事前にお問い合わせください。
- ◆問い合わせ先 〒010-8515 秋田県秋田市下北手桜守沢 46-1 大学事務部教務学生課
Tel:018-836-1325 Fax:018-836-2485 Email: kyomuj@nau.ac.jp

秋田看護福祉大学

個人情報保護のため、電話での申請は受け付けできませんので、以下の方法で申請してください。なお、国家試験受験に係る証明書申請の場合は、様式が異なりますので、その旨を記載してください。

窓口で	申請	以下の書類を添えて申請してください。 ・証明書申込票（手数料分の本学証紙を貼付）・運転免許証等身分を証明できる書類 ※本人以外が申請する場合は委任状が必要です。
	受領	受付から20分程度で発行可能です。窓口でお受け取りください。なお、証明書の種類によっては、当日発行が出来ない場合があります。後日の郵送も可能です。
郵送で	申請	以下の書類を添えて郵送してください。 ・証明書申込用紙（本学ホームページでダウンロード）・運転免許証等身分を証明できる書類のコピー
	受領	受付の翌窓口取扱日に郵送いたします。なお、料金については、請求書を同封いたしますので、到着後1週間以内に現金書留か郵便小為替で納入してください。
電子メールで	申請	以下の書類を添付して送ってください。件名は「証明書申請」としてください。 ・証明書申込用紙（本学ホームページでダウンロード） ・運転免許証等身分を証明できる書類（デジカメ等で撮影したもの。氏名、生年月日、住所等が確認できること）
	受領	受付の翌窓口取扱日に郵送いたします。なお、料金については、請求書を同封いたしますので、到着後1週間以内に現金書留か郵便小為替で納入してください。
FAXで	申請	以下の書類を揃えてFAXしてください。 ・証明書申込用紙（本学ホームページでダウンロード）・運転免許証等身分を証明できる書類のコピー
	受領	受付の翌窓口取扱日に郵送いたします。なお、料金については、請求書を同封いたしますので、到着後1週間以内に現金書留か郵便小為替で納入してください。

- ◆窓口取扱い時間 月曜日～金曜日 8:30～17:10
*土・日・祝日・夏季/年末年始休業期間中を除く
- ◆問い合わせ先 〒017-0046 大館市清水 2-3-4 秋田看護福祉大学 事務部学務課 証明書発行担当
Tel:0186-45-1719 Fax:0186-43-6711 Email: gakumu@well.ac.jp

ノースアジア大学・秋田栄養短期大学・秋田看護福祉大学校友会

■校友会(卒業生)の皆様へ。校友会の活動については次のとおりです。

- ◆主要事業 ◎会員情報の管理・保管 ◎会報の発行 ◎母校(教育諸活動)の支援 ◎会員の慶弔 ◎総会・部会・支部会の開催
- ◆校友会活動についてのお問い合わせ・住所変更のご連絡は
校友会事務局(ノースアジア大学校友会館内)
〒010-0058 秋田市下北手桜守沢 21-9 Tel:018-836-6534(FAX 兼) <月・水・金 10:00～16:00>